

第2学年 京大見学会の感想 令和8年8月21日(金)

生徒1

(1)講話を聴いて学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

研究テーマは、ほんのささいなこと、どうでもいいかもしれないことから生まれることもあるから、自分から可能性を潰さないよう気をつけないといけないことを学んだ。単純に妥協するのではなく、納得できる選択をすること、そのためには見聞を広げるために、最短距離でなくともたくさんの経験を積むことも重要だと考えた。大学に入って、自分の夢に向かうということだけでなく、大学内での過程(生活や長期休暇中にしたいことやすべきこと)にしっかり向き合わないといけないと考えた。

(2)大学生とのキャンパスツアーを通じて学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

各学科でたくさんの棟を持っていて、本当に多様なことについてそれぞれ深く学ぶことができる環境がそろっている。京大を含めた「大学」が人生において極めて重要な場所であると同時に、多大な時間を使う場所でもあるから、真剣に進路を決めなければ有意義に時間を使えなくなるかもしれないので、可能性と危険性を踏まえて進路を決めないといけないことを学んだ。

(3)午後の部に参加して学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

見たことがないような精密で最新の研究設備や研究環境、それらを保つための工夫を見て、努力・労力があるのはもちろん、適切な環境が揃っているからこそ、日本・世界の技術は進歩していて、その一員となれる可能性は高校生には多分にあるということを学んだ。

生徒2

(1)講話を聴いて学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

徳地先生の講話から「社会的共通資本」という言葉を知り、「誰か一人のものとなつてはいけない」という意味も学びました。海と陸、人間と自然生態系を分けて考えるのではなく、「つながり」があるからこそ両方を考えていくべきだと考えさせられました。中山さんの講話からは、「アクセラレーター」という職業があることも初めて知りました。大人の方々の話からは、私が知らない世界、世界中とつながれる職があることを学び、今の私の視野の狭さを感じるとともに、これから広げていけるワクワクを感じました。

(2)大学生とのキャンパスツアーを通じて学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

まず、最初の印象は、とにかく広いということです。京都大学では、授業の移動に間に合わせるため、校内で自転車を使っていることを知りました。また、多くの人が学業、アルバイト、サークル活動のバランスをとって忙しい毎日を送っていると学びました。自分のやりたいことのために時間を自分で組み立てる能力が必要なのだと考えました。また、図書館の自習室の充実さに驚きました。実際行って見たことでホームページなどでは分からないことも実感でき、理想の大学生活のイメージもより鮮明になりました。これを日々のモチベーションとして学習につなげていけるようにしなければ意味がないので、忘れずにいたい。

生徒 3

(1)講話を聴いて学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

徳地先生のおっしゃっていた、ニッチな分野ならではの良さというのには共感した。確かにロマンがある。そして、科学でも、結局は社会への還元といった視点が必要なのだと実感した。「自分で調べ、考え、選ぶという納得感をもつのが大事」という言葉にもハッとさせられた。山中先輩の「決めたらあとは乗るだけ」という言葉も大切にしたい。色んな学びを試食した上で主食を決めたいと思っているので、情報を集めなければと思った。

(2)大学生とのキャンパスツアーを通じて学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

同じキャンパス内でも全く景色が違った。比較的都会的なところから大文字山が見えるグラウンドまで。歴史的な建物も多く、吉田キャンパスの探検だけでも2週間はかかりそうだった。高校での勉強について聞くと、やはり毎日コツコツしていたとのこと。めっちゃやる！というより洗顔と同列くらいのルーティンに落とし込むのが大事なのだった。とりあえず、英単語帳や古典の単語帳は完璧にしておこう。あと2カ月の間に、本格的な受験勉強の準備と青春にサヨナラしないといけなかった。

(3)午後の部に参加して学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

研究のスピードは研究の装置や設備に依存するということや田部先生が講話でおっしゃっていたが、iCeMSの最新設備の話聞いて、それを実感した。圧倒的な投資額を誇る米中等に引き離されつつある近年の日本だが、「発想」という観点では引けを取らないな、と感じた。もちろん、研究費の増額は必須だが、なんとか工夫して奮闘してほしいと思った。

生徒 4

(1)講話を聴いて学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

自分の進路について考えることはとても大切で、後に「この選択をして良かったな」と思える選択をすることや、「考え切った」と思えるようになることが大事だと学びました。大学受験を乗り越える過程で、自分の成長を実感することも、合格に向けてモチベーションを高めるために必要だと分かりました。高校生の間に、勉強だけでなく、行事や部活動など何かに熱意をもって全力で取り組むことが大切で、それができると、受験勉強を乗り越えるということを学びました。

(2)大学生とのキャンパスツアーを通じて学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

京都大学はとても大きく、いろいろな設備があってとても充実していると感じました。研究設備がとても整っていて、図書館や24時間開いている自習室など、多くの施設があることを知りました。案内してくれた先輩は2年の3月頃から本格的に受験勉強を始めたと言っており、そのぐらいの時期から始めるのが良いのだと思いました。

(3)午後の部に参加して学んだこと、考えたこと等を書きましょう。

京都大学の研究施設は日本トップレベルの設備があり、様々な装置があることを学びました。世界の研究機関との協定により設立された研究室などもあり、ノーベル賞級の研究が行われている研究室を実際に訪れることができ良かったです。